

第 64 回 愛知県河川整備計画流域委員会 議事抄録

<天白川（渥美）流域（第 3 回）>

日時：平成 30 年 8 月 10 日（金） 13 時 40 分～14 時 40 分

場所：愛知県庁 6 階正庁

◇議題

天白川（渥美）流域（第 3 回）

- 前回委員会での意見と回答
- 住民アンケートの結果について
- 河川整備計画（原案）について
- 質疑

◇質疑

【委員意見】

参考資料を見ると、表の 6. 1－5 で N、P がとても高い。特に N が高いのはなぜか。

【事務局回答】

渥美半島で特に農地が多いため、N の値が高い傾向にあると考えている。

【委員意見】

原案の 15 ページで、ミシシippアカミミガメも保全をする必要があると読み取れるので、整備する際に外来生物の駆除、在来生物の棲息地云々というように、外来生物の駆除という言葉を加えていただきたい。

【事務局回答】

修正する。

【委員意見】

市民にとって、「安全」は一滴も溢れない、堤防が壊れないのが安全だと多くの人は思ってしまっているので、5 分の 1 確率ではあふれるということがどういう時点でしっかりと伝えられるのか。安全の度合いが違うということは、わかっていない人のほうが多いと思う。確率であふれることはあるが、そこをもつての安全、それ以下は安全ですというような書き方を考えていただいたほうが誠実だと思う。

【事務局回答】

検討する。

【委員意見】

流況の把握ができていないという現状に対して、河川の流況や水質の把握に努めるという今後の目標であるが、これは水位計を設置したり水位観測機器を設けたりすることを意味しているのかどうかということと、現実的にはやられているケースが多いのかどうか。

【事務局回答】

直ちに例えば水位計を設置するということを意味しているわけではない。水位計を必要のあるところでつけているというのが実情である。天白川のような川で直ちにつけるということは、現時点では想定していないが、田原市でやられていたりするので、そういったところと連携して流況の把握にも努めていきたいということを記載している。

【委員意見】

24ページに写真が掲載されている。川床を掘るということであるが、掘ることによって堤防の強度的なことは問題ないのか。堤防のすぐ裏が集落になっているため、教えていただきたい。

【事務局回答】

掘削の方法は、24ページの下断面を見ていただくと護岸の根入れがあり、これに2割ほどの勾配をつけて護岸の根を傷めないような掘削を考えており、基本的には掘削して堤防の護岸が弱まらないような方法を考えていく。

【委員意見】

堤防は車が通れるようになっているのだが、幅が狭く、ガードレールがないため、危険を感じている。市にも要望しているが、それは県の関係で市ではできないとの回答をいただいている。そのことで何か答えがいただけたらと思う。

【事務局回答】

ガードレールは、堤防に差し込んで弱くなるようなものを設けないようにと県では考えている。特に堤防の天端が狭いということは堤防の幅も余裕がないということなので、難しい状況である。

【委員意見】

原案の18ページの下文章であるが、治水安全度を超える災害があるということを前提にしているような書き方をしているので、万一発生した場合は必要な対策を講じるという文章にしたほうが良いと思う。

【事務局回答】

計画規模を超える災害については、今回、対象としているのが5分の1の確率ということで、それを超える降雨は必ず起こるという前提である。実際に全てハードでできるわけではなくて、まず、ハードとしては5分の1というのを目標として定めている。なので、そのような治水安全度を超える規模の雨が降るかはわからないということで、そのような雨が発生した場合は適切な対策をとる必要があるということで記載している。

【委員意見】

津波だけハード、ソフトを組み合わせて多重防御で減災を目指すと書いてあるが、なぜ洪水、高潮で同じことをしないのか。

【事務局回答】

整理して記載を考える。

【委員意見】

原案の2ページの図1. 1-2について、徐々に市街地が拡大して水田が減少することは、通常のことだと思う。参考資料でメッシュ分析をしていて、将来市街化想定のところだと市街地はむしろ増減を繰り返して減少している。ほかのところも土地利用の数値が同じように読めないが、2ページの図1. 1-2は参考資料のどこから来ているのか。

【事務局回答】

24ページのグラフについては、ガラスハウスについても畑としてみなしている。しかし、実際にはガラスハウスはほとんど市街地のような特徴を流出について持っているので、そのように補正をかけた。なので、ガラスハウスを市街地としてみなしたものを改めて本文に記載している。

【委員意見】

15ページの住民のアンケートの結果だが、先ほど草を刈っているにもかかわらず、人によっては草が刈ってないという意見を書かれていたとある。それを公の場を書いてしまうと、ボランティアの人が残念に思うと考えられる。定期的に刈ってほしいという意見もあったとか、やわらかく言っておかないと、草を刈っているのになぜ文句を言われたいといけないのかとなりかねないので、そのあたりを十分に考えた記載にさせていただくとありがたい。

【事務局回答】

時期的にこのような回答になってしまったと考えられる。再度アンケートの回答を確認し、どう表現していくか検討する。

[了]